

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	本人、ご家族の要望、意見を真摯に受け止め、さらにケアの向上を図り、生活を向上、豊かなものにしていく。	リーダー、担当者を中心に本人、ご家族の要望や、声なき声を聴き、新たな目標を設定し、きめ細かく、配慮が行き届いたサービスの拡充を図る。	本人やご家族との話し合いの場面をできるだけ生の声を記録していき、その言葉を利用して、ケアカンファレンス時に、その時その時の心の動きや思いを把握したり洞察し、ケアに活かしていく。	6ヶ月
2	20	もっと本人の要望に応え、これまでの人生で大切にしていた思い出のある場所やかけがえない方とのかかわりの協力体制や関係の継続支援を整えていく。	家族や地域の方との協力関係を大切にし、地域での関わりを充実していく。その人の思いを可能な限り支える体制を整えていく。	本人やご家族に、人生での大切な思い出やその時の思いを今一度丁寧に聴いていき、その人の人生において大切な方や場所に可能な限り、出かけていき、生き活きと過ごせる体制作りを行う。	6ヶ月
3	2	今までの理念や目標をもう一度見直し、現在のものさらに未来に向けてのものに変えていく必要がある。	ミーティングを通じて、新たな新賀のビジョンを明確にし、再度、新たな理念、目標を定め、ここならではのカラーを出していき、ケアのさらなる充実、拡充を図る。	お年寄りやご家族の声を反映しつつ、スタッフ一人一人の思いをKJ法で分類、把握しながら、新たな理念と目標を定める。それに向かって、志新たに新賀の良さを引き出していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。